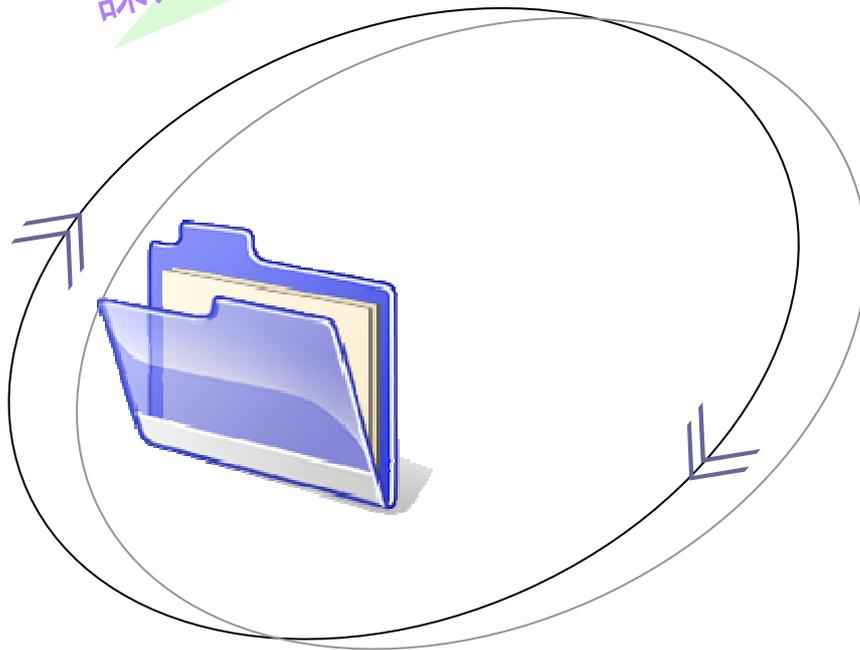


課外活動

キャリア

学び



## 静岡大学 キャリアポートフォリオ操作概要（学生用） Ver. 1.2

2015年3月 学務部教務課 発行

### 目次

■ キャリアポートフォリオの全体構成	P1
■ 学修成果シート	P2
[1] 目標登録	P2
[2] 活動成果登録	P4
[3] 入力項目と評価基準	P6
■ Live ノート	P7
[1] グループ作成	P7
[2] 短期目標管理	P9
[3] レポート公開	P10
[4] 自由記述方式	P11
[5] 記事の検索と参照	P11
■ 自分史	P14
[1] 作成方法	P14
[2] 入力項目	P15
■ ポートフォリオシステムの利用に関するガイドライン	P17

## キャリアポートフォリオの全体構成

学務情報システムに新たに追加されたポートフォリオ関係の機能群を使い、大学生生活の記録を最終的に就職活動へとつなげる「キャリアポートフォリオ」をパッケージとして提供します。

### 【利用の基本方針】

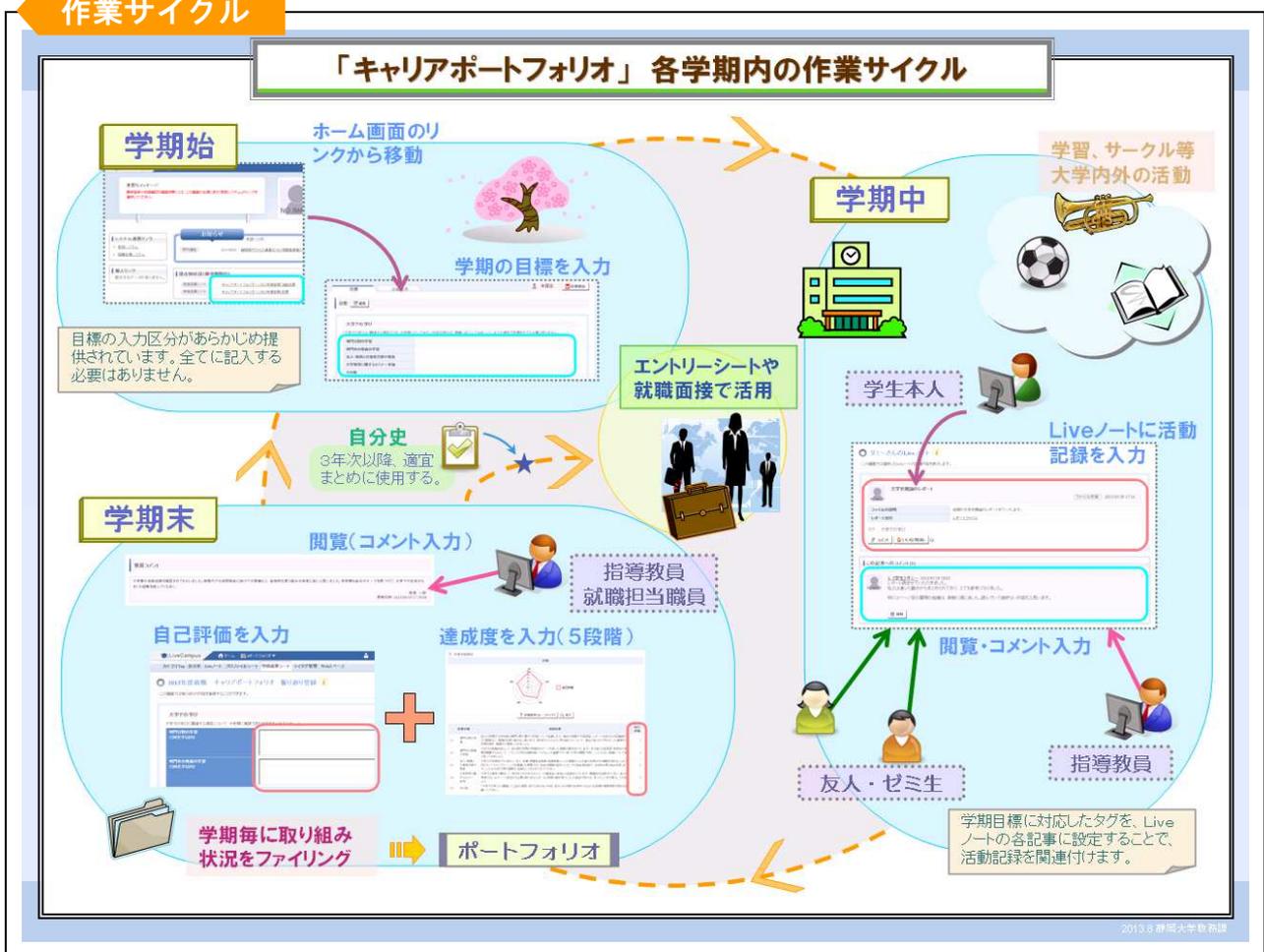
- 学生による・活動成果等の入力には特に義務的なものではありません。(※)
- 教員による入力チェックやコメントに関しても任意の扱いであり、学生による主体的な利用を基本としています。

※ 研究室や学科毎に別途方針がある場合は、各々の指示に従ってください。

キャリアポートフォリオは、学務情報システム上の3種類の機能により構成されています。それぞれの機能の位置づけや作成の時期については、下記の作業サイクルの図を参照してください。

- 1 **学修成果シート** → ・大学で事前に設定した項目別に、各学期の目標と活動成果を登録する。
- 2 **Liveノート** → ・学期目標に関連させながら、学生自らが短期目標等の記事を作成する。
- 3 **自分史** → ・3年次以降にこれまでの記録をまとめ、就職活動等につなげる。

### 作業サイクル



## 公開範囲について

ポートフォリオ関係機能に入力された内容は、それぞれ下表の範囲で公開されます。大学が運用するシステムへ登録するにあたり、内容が適切なものとなるよう常にご留意ください。

機能名	公開範囲
学修成果シート	【学生】 本人のみ 【教職員】 正副指導教員、就職等担当職員
Live ノート	【学生】 本人、本人が指定する学生グループ 【教職員】 正副指導教員、本人が指定する教職員グループ、就職等担当職員
自分史	【学生】 本人のみ 【教職員】 正副指導教員、就職等担当職員

## 学修成果シート

学修成果シートは、大学側で設定する定型項目に沿って各学期の目標と成果登録を行い、自律的な学修や課外活動等の取り組みを手助けします。

### 【機能の特徴】

- 目標・活動成果のサイクルを蓄積する、ポートフォリオシステムの中心的機能。
- 就活の面接等で自己アピールの材料となる、大学での活動記録を継続的に蓄積する。
- 記録の蓄積に加え、自己アピールに適した取り組みを意識的に探すきっかけを与える。

## [1] 目標登録

各学期の初めに作成する目標の設定方法を説明します。

**ホーム画面**

The screenshot shows the LiveCampus home page. At the top, there is a navigation bar with 'LiveCampus', 'ホーム', and 'トップメニュー'. A dropdown menu is open, showing '授業サポート', 'キャンパスライフ', and 'eポートフォリオ'. A red box highlights 'eポートフォリオ', and a yellow callout box points to it with the text: 「eポートフォリオ」系メニューから、学修成果シートの画面を開くことも可能です。

Below the navigation bar, there is a '重要なメッセージ' section with a red box around the text: 履修登録や成績確認の画面を開くには、左側のメニューから「eポートフォリオ」を選択してください。

In the center, there is an 'お知らせ' (Notice) section with a blue header and a list of notices. A yellow callout box points to the 'eポートフォリオ' link in the notice list with the text: 当該学期の学修成果シートは、ホーム画面の「提出物状況」欄に表示されます。このリンクから目標参照画面に遷移してください。

At the bottom, there is a '提出物状況(締切期限内)' (Submission Status) section. A red box highlights the link '学修成果シート' in the list, and a yellow callout box points to it with the text: 当該学期の学修成果シートは、ホーム画面の「提出物状況」欄に表示されます。このリンクから目標参照画面に遷移してください。

## 目標参照画面

LiveCampus ホーム eポートフォリオ さん 39:51 ログアウト

カテゴリTop 自分史 Liveノート プロファイルシート 学修成果シート(キャリアポートフォリオ) 表示

目標編集画面での入力が完了後、「目標提出」ボタンを押すことで登録が完了します。

指導教員が入力内容を確認することができます。

編集ボタンを押すことで、目標編集画面に遷移します。

目標提出後も、「目標取り下げ」ボタンにより再編集が可能です。

指導教員が閲覧すると「教員既読」の状態となり、教員名と閲覧日時が表示されます。

未提出 目標提出 教員未読

提出済 目標取り下げ 教員既読 教員 一郎 2015/01/15 19:03:51

目標

大学での学び

「大学での学び」に関連する項目のうち、今学期に行

専門分野の学習

専門外の教養の学習

友人・教員との意見交換や発表

大学教育に関するセミナー参加

その他

大学外での学び

## 目標編集画面

LiveCampus ホーム eポートフォリオ さん 39:51 ログアウト

カテゴリTop 自分史 Liveノート プロファイルシート 学修成果シート マイタガ管理 Webスペース

2013年度前期 キャリアポートフォリオ 目標登録 ⓘ

この画面では目標を登録することができます。

各区分の入力欄に目標を入力してください。自分にあまり関係がないと思われる区分は、特に入力不要です。

画面末尾にある登録ボタンにより、編集内容が保存されます。

大学での学び

「大学での学び」に関連する項目のうち、今学期に行ってみたい内容があれば、簡単に記入してみましょう。全ての項目で目標を立てる必要はありません。

専門分野の学習 (200文字以内)

専門外の教養の学習 (200文字以内)

友人・教員との意見交換や発表 (200文字以内)

登録

### 〔目標区分について〕

目標を作成する際のガイドとなるよう、多くの目標区分が提供されていますが、これらの全てに入力をする必要はありません。

また、大学で設定した区分に依らずシンプルな目標を立てたい場合は、自由記述欄を適宜活用してください。

## [2] 活動成果登録

学期の終わりに作成する活動成果登録の方法を説明します。

### 活動成果参照画面

まず、ホーム画面の提出物状況のリンクから活動成果参照画面を開きます。

自己評価編集画面・振り返り編集画面での入力が完了後、「目標提出」ボタンを押すことで登録が完了します。

編集ボタンを押すことで、自己評価編集画面に遷移します。

成果提出後も、「成果取り下げ」ボタンにより再編集が可能です。

目標画面と同様に、指導教員による閲覧日時を確認できます。

各区分の自己評価の平均からレーダーチャートが作成されます。グラフの大きさやバランスは、特に意識する必要はありません。

編集ボタンを押すことで、振り返り編集画面に遷移します。画面構成は目標編集画面と同様です。

画面の下段には、教員コメントを確認できる欄があります。

学修成果シート(キャリアポートフォリオ)

提出ボタンをクリックすると、担当教員に入力内容が公開されます。  
達成度は取得した授業科目および成績より自動計算されます。

LiveCampus

ホーム eポートフォリオ

カテゴリTop 自分史 Liveノート プロファイルシート 学修

目標 活動成果

未提出 成果提出 教員未読

成果 編集

提出済 成果取り下げ 教員既読 教員 一郎 2015/01/15 19:03:51

全体を表示 目標領域ごとに表示

全体

評価

自己評価

評価基準(ルーブリック) 拡大

目標領域	自己評価
A 大学での学び	2.20
B 大学外での学び	3.00
C 課外活動の取り組み	4.00
D パーソナリティ	2.80
E キャリアデザイン	3.80
F その他	

大学での学び

大学での学びに関連する項目について、今学期に実践できた内容をまとめてみましょう。

専門分野の学習

専門外の教養の学習

友人・教員との意見交換や

大学教育に関するセミナー

その他

大学外での学び

教員コメント

今学期の活動成果を確認させていただきました。授業内での共同発表に向けての準備など、自発的な取り組みが非常に良いと思いました。来学期も自分のテーマを見つけ、大学での生活から多くの経験を積んでください。

教員 一郎  
更新日時: 2013/06/19 17:58:06

## 自己評価参照画面

自己評価参照画面

自己評価 1~5 の数値に対する説明が表示されます。

編集ボタンを押すと、自己評価登録画面に遷移します。

目標分類	到達目標	自己評価
専門分野の学習	自分の所属する学科等の専門分野に関する学習について記載します。普段の授業や予習復習、レポート作成のため図書館で行う調査など、積極的な取り組みを心掛けます。具体的なことのように取り組むかについて、過去の自分ができなかった事柄から目標を導き、意識的に実践してみましょう。	5
大学では教養科目として、他分野の学問や学際的なテーマを持った授業が提供されています。その他にも他学部・他学科の授業を聴講するなどして、バランスのある知識を身につけることも重要です。特に大学の課程で得た、こうした広い教養について振り返ってみましょう。		3

## 自己評価登録画面

自己評価登録画面

各目標分類の自己評価を選択します。入力は自分が目標を立てた区分のみで構いません。

設定が完了したら、登録ボタンで保存します。

目標分類	到達目標	自己評価
専門分野の学習	自分の所属する学科等の専門分野に関する学習について記載します。普段の授業や予習復習、レポート作成のため図書館で行う調査など、積極的な取り組みを心掛けます。具体的なことのように取り組むかについて、過去の自分ができなかった事柄から目標を導き、意識的に実践してみましょう。	5
専門外の教養の学習	大学では教養科目として、他分野の学問や学際的なテーマを持った授業が提供されています。その他にも他学部・他学科の授業を聴講するなどして、バランスのある知識を身につけることも重要です。特に大学の課程で得た、こうした広い教養について振り返ってみましょう。	5
友人・教員との意見交換や発表	大学での学習を行うにあたり、友人・先輩・授業担当教員・指導教員といった周囲の人との協力を得ながら理解を深めることもできます。アクティブラーニングを意識した授業では、各自が調査内容をプレゼンする機会等を捉え、主体的な取り組みを促します。このような形で得た経験を、記録としてまとめましょう。	5
大学教育に関するセミナー参加	大学での勉学に関連して、学内外で行われるセミナーや、自分に興味のないセミナーに参加する必要はありません。積極的に参加して、学びを深めましょう。	5
その他	「大学での学び」に関連して上記の項目にあてはまらない内容、あるいは分類が全体的になるような目標や実践項目があれば記載してください。	5

### 〔レーダーチャートについて〕

システムの標準機能として、各目標区分に登録された達成度からレーダーチャートが表示されます。目標区分は必要な欄のみ使用する形で良いため、この**グラフの大きさやバランスは特に意味を持ちません**。達成度の数値自体も、基本的に自分なりの参考とするためのものですので、適宜全体の値を調整しながらグラフを調整しても構いません。

### 〔教員既読とコメントについて〕

目標・活動成果それぞれの画面上部に教員既読欄があります。指導教員が学修成果シートを閲覧した目印として、既読マークが表示されます。また、下段には教員コメント欄があり、教員からのメッセージがある場合には、この部分に表示されます。指導教員による既読チェックやコメント入力についても任意の扱いとなっておりますので、一部の研究室等でのみ限定的に使われる機能としてご理解ください。

### [3] 入力項目と評価基準

大学側で設定をしている目標区分や、自己評価の意味合いについて説明します。

■ 学修成果シートに設定されている目標区分と記載内容の説明は、下表のとおりです。

目標区分	説明
<b>(1) 大学での学び</b>	
専門分野の学習	自分の所属する学科等の専門分野に関する学習について記載します。普通の授業や予習復習、レポート作成のため図書館で行う調査など、積極的な取り組みを心掛けます。具体的にどのように取り組むかについて、過去の自分ができなかった事柄から目標を導き、意識的に実践してみましょ。
専門外の教養の学習	大学では教養科目として、他分野の学問や学際的なテーマを扱った授業が提供されています。その他にも他学部・他学科の授業を聴講するなどして、バランスのある知識を身につけることも重要です。特に大学の課程で得た、こうした広い教養について振り返ってみましょ。
友人・教員との意見交換や発表	大学での学習を行うにあたり、友人・先輩・授業担当教員・指導教員といった周囲の人との協力を得ながら理解を深めることもできます。アクティブラーニングを意識した授業では、各自が調査内容をプレゼンする機会等を設け、主体的な取り組みを促します。このような形で得た経験を、記録としてまとめてみてください。
大学教育に関するセミナー参加	大学での勉学に関係して、学内外で行われるセミナーや講演会に参加した記録を入力します。開催自体も限られており、自分に興味のないセミナーに参加する必要はありませんが、もし教員の勧め等でこうした機会があれば、学んだことを文章化してみましょ。
その他	「大学での学び」に関連して上記の項目にあてはまらない内容、あるいは分類が全体的になるような目標や実践項目があれば記載してください。
<b>(2) 大学外での学び</b>	
資格取得のための学習	資格を取得するための学習や取り組みについて記載します。分野によっては大学での学びと重なる部分もあるかと思いますが。運転免許のような各種資格を取るにあたって、自分の立てた目標と達成状況を書くことで、取得の経過についても振り返りを行うことができます。
留学・語学研修	留学や語学研修も含め、国際交流に関係する活動を行っていただければ記入してください。実際に海外へ行った場合に限らず、外国人留学生との交流を通じた経験や、広く語学力向上のための取り組み等も含めることができます。
大学外の課程での学習	英会話教室や資格取得に関係する予備校など、大学外の学習機関に通い学んだ内容を記入します。特に該当がなければ何も書く必要はありません。
各自の関心に基づく学習	自らの興味のあることを書籍やインターネットで学ぶといった、大学の授業とは関係なく知識の探求を行ったことがあれば、その内容を記入します。時事的な情報、一般常識など教養を広げたいと思うこと、学習できたことについて簡単に書いてみます。
その他	「大学外での学び」に関連して上記の項目にあてはまらない内容、あるいは分類が全体的になるような目標や実践項目があれば記載してください。
<b>(3) 課外活動の取り組み</b>	
部活動・サークル	学内で取り組む部活動やサークルでの経験をまとめます。大会などの結果だけでなく、取り組みを通じた自分の変化（意識、習慣）やチーム内での役割（自分とメンバーとの関係、プロセス）に注目してまとめると振り返りに役立ちます。
アルバイト	アルバイトは単に収入を得るだけでなく、社会とつながる貴重な場所です。仕事内容を通して自分と社会とのつながりを想像しながらまとめるとよいでしょう。始めたきっかけ、当初期待していたこと、周りのメンバーの様子、自分の役割、できなかったこと、できるようになったこと、認められたこと、注意を受けたことなど小さな体験、気づきを入力していけば、ものの見方や視点の違いなどの自分の変化も振り返ることができます。
ボランティア・地域活動	地域行事への参加、各種イベントのサポーター、ボランティア団体との関わりなど、地域社会と連携した取り組みをまとめます。組織的な活動に限らず、地域の方との交流など日常的な行動もまとめておくとよいでしょう。また1つの活動での気づきや交流が別の活動や大学での学びなどにつながることもしばしばあります。半年、1年単位ではそれらの視点から振り返ることよいでしょう。
学外団体での活動	地域とは直接関わりのない組織や団体での取り組みについてまとめます。「部活動・サークル」「アルバイト」「ボランティア・地域活動」の説明を参考にしながらまとめましょ。
その他	「課外活動の取り組み」に関連して上記の項目にあてはまらない内容、あるいは分類が全体的になるような目標や実践項目があれば記載してください。
<b>(4) パーソナリティ</b>	
趣味の充実	学業の分野に限らず、自分の趣味についてどれだけ深められたか振り返ってみます。昔から好きであったこと他、新しく趣味に出来たことについても記入してみてください。
日常生活	健康のため日頃から心掛けている習慣、学業以外のプライベートな生活時間を確保するための努力、あるいは将来の生活で役立つような知識やスキルを身につけるといった、自分が普段意識的に行っている事柄を記入します。
友人・家族関係	友人関係で気を付けていること、家族との関わりの中で感じたことなど、人間関係における自分なりのトピックを探しメモとして書き出します。パーソナリティについての自己分析を行うにあたって、具体的なエピソードとして利用します。
運動・芸術等の取り組み	体力づくりや芸術的の分野に対する理解について、何かしらの取り組みを行っていただければ記入します。
その他	「パーソナリティ」の分野に関連して、上記の項目にあてはまらない内容、あるいは分類が全体的になるような目標や実践項目があれば記載してください。

目標区分	説明
<b>(5) キャリアデザイン</b>	
職業・業界研究	将来就きたい職業や興味のある業界について収集した情報を記載します。情報収集する上では、主観的な意見や考えばかりを取り上げず、客観的な根拠やデータを用い自分なりの考察を加えるとよいでしょう。また、将来の進路選択につなげるには、関連する職業や利害関係、現状の課題などについて視野を広くし、捉えていくことが望まれます。
就職活動準備	学内の就職ガイダンスで得た情報などから就職活動を見通し、必要な準備を記載していきましょう。就職は大学受験と違い、客観的な点数で評価されるものばかりではありません。特に選考で重視される面接では、表情や会話での印象など応募先の主観的な評価によっても結果が異なります。選考側の視点に立った準備が望まれます。
インターンシップ・就業体験	インターンシップは2年次、3年次に受講する専門科目や学際科目だけでなく、1年生から参加できるプログラムや学外にも多様な機会があります。積極的に参加し大学での学びや将来の進路選択に活かしましょう。ただし参加するだけでは活かすことはできません。事前学習として体験場所や仕事内容についての理解を進め「問い」を立て、体験を通じてその問いを検証していきましょう。また体験に臨むにあたり、自分がどのような能力を伸ばしたいのか目標を立て、指導役の社会人に評価してもらいましょう。最後に事後学習として自分が立てた問いや目標の成果を振り返りまとめましょう。
キャリア・就職関連セミナー参加	大学や外部団体が主催するセミナーやガイダンス、講演会などに参加した場合、開催概要とともに学んだこと、気づいたことをまとめましょう。まとめるときには、感想や考えを記載するだけでなく、具体的な目標を設定しましょう。
その他	「キャリアデザイン」の分野に関連して、上記の項目にあてはまらない内容、あるいは分類が全体的になるような目標や実践項目があれば記載してください。
<b>(6) その他</b>	
その他	自分なりの視点から、独自の目標設定や実践した内容の記録を残したい事柄があれば、自由に記述してください。

■ 学修成果シートの各目標区分に入力する1～5の自己評価の説明は、下表のとおりです。

自己評価	評価の基準
5	大いに実践できた
4	実践できた
3	どちらともいえない
2	あまりできなかった
1	全くできなかった

## Liveノート

Live ノートでは、大学側が提示する目標区分とは別に、学生自らがテーマを定めて記事を作成します。フォーマットとして、短期目標管理、レポート公開、自由記述の3種類が用意されています。

### 【機能の特徴】

- 学期レベルの目標と連携しつつ、短期的な ToDo リストを自ら設定する。
- 学内の既知の友人やゼミ生をグループ化し、レポートファイル等を共有する。
- 自由記述のブログ形式で活動記録を作成する。サークル内の情報交換等にも使用可能。

## [1] グループ作成

Live ノートの記事を友人等に公開するためには、まずグループ作成を行います。

### 【公開対象者の事前了解について】

友人等をグループに登録して Live ノートを公開する際は、**必ず事前に本人の了解を得ておいてください。**

## ホーム画面

重要なメッセージ  
履修登録や成績確認の画面を開くには、この選択してください。

個人設定  
画面カスタマイズ  
**グループ管理**  
メールアドレス確認

前回ログイン日時:2013/04/16 14:39

お知らせ  
未読:1件  
条件変更

システム連携リンク  
教務システム  
就職システム

学内連絡 2013/04/16 一般科目履修登録期間のご案内 (未読) 教務課学務情報係

## グループ新規追加

グループ一覧 ⓘ **+ 追加** 表示順変更

検索条件を指定することで、グループ一覧の絞り込みを行うことができます。  
グループを新規に作成する場合は、「追加」をクリックしてください。

検索条件変更

## グループ名設定画面

グループ名 (100文字以内) 必須 **文学史ゼミのメンバー**

グループ説明 (1000文字以内)

参加者 必須

学生(個人) **+ 対象者追加**

学生氏名	学部/研究科
<input type="checkbox"/> 学生 次郎	人文社会科学部
<input type="checkbox"/> 学生 三郎	人文社会科学部

削除

教職員(個人) + 対象者追加

登録済

**確認**

対象者検索画面

対象者選択(学生個人) ⓘ

この画面では学生の選択を行います。

検索条件変更

学生氏名 (完全一致検索) 必須	<b>学生 次郎</b>
学部/研究科	全て
学科・課程/専攻	全て
コース・専攻等	全て
学年	全て

クリア 検索

「学生氏名=学生 次郎」で検索した結果

10 件表示 絞込

学生氏名	学部/研究科	学科・課程/専攻	コース・専攻等	学年
<input checked="" type="checkbox"/> 学生 次郎	人文社会科学部	言語文化学科		1年

全1件中1件目から1件目までを表示

先頭へ 前へ 1 次へ 最後へ

**+ 追加**  続けて追加する

対象者の検索は、漢字氏名又はカナ氏名による完全一致で行います。

## [2] 短期目標管理

短期目標管理は Live ノートの定型フォーマットとして用意されており、ToDo リスト形式で学生が自ら目標を登録することができます。各目標に対し、進捗率（10%刻み）や難易度（高・中・低）の設定を行います。

### Live ノート新規作成

「Live ノート」にカーソルを合わせて「新規作成」を選択すると、登録画面に遷移します。

e ポートフォリオ系メニューのトップ画面。

### 短期目標登録画面

カテゴリ欄に「短期目標管理」、入カテンプレートに「ToDo リスト」を選択します。

必須項目である、タイトル、期限、難易度、進捗率を設定してください。

進捗率はタイトル作成後、編集画面から随時更新することができます。

キャリアポートフォリオ等の目標区分の内、この短期目標がどれに該当するかチェックをしてください。

自己評価は、短期目標の完了後に総括の意味で記録します。

デフォルトでは指導教員と職員が公開対象となります。

事前作成した公開対象グループを指定します。

登録ボタンを押すと、記事が公開されます。

### [3] レポート公開

レポート公開は Live ノート定型フォーマットのひとつで、授業で作成したレポート等のファイルを友人やゼミ生と共有することに特化した様式です。授業担当教員等も交えて、レポート内容のレビューを相互に行うような使い方を想定しています。

#### レポート公開登録画面

短期目標管理と同様に Live ノートの新規作成画面を開きます。

カテゴリ欄に「レポート公開」、入力テンプレートに「ファイル共有」を選択します。

必須項目である、タイトル、レポート添付を指定してください。

キャリアポートフォリオ等の目標区分の内、この短期目標がどれに該当するかチェックをしてください。

自己評価は、レポート公開をした後、総括の意味で記録します。

デフォルトでは指導教員と職員が公開対象となります。

登録ボタンを押すと、記事が公開されます。

この画面では Live ノートの登録を行います。  
内容を入力後、「登録」ボタンをクリックしてください。

タイトル (40文字以内) **必須** 文学史概論のレポート

カテゴリ レポート公開

入力テンプレート ファイル共有

内容

ファイルの説明 (1000文字以内) 前期に行われた文学史概論のレポートをアップします。

レポート添付 **必須** + ファイル追加

タグ・評価

ポートフォリオタグ

キャリアポートフォリオ

大学での学び  
 大学外での学び  
 課外活動の取り組み  
 パートナリティ  
 キャリアデザイン  
 その他

マイタグ ? 新規タグ

自己評価 ▼選択してください

公開範囲

学生 非公開

教員 指導教員に公開

職員 全体に公開

グループ指定

グループ + グループ追加

登録

#### グループ選択画面

この画面ではグループの選択を行います。

グループ名 文学史ゼミのメンバー

+ 追加  続けて追加する

「グループ追加」ボタンからグループ選択画面を開き、事前に作成したグループを設定します。

## [4] 自由記述方式

自由記述方式は、定型項目を持たないフリーの入力様式で、テキストの他、写真や添付ファイルをあわせることで、ブログのような記事を作成することができます。

**自由記述登録画面**

短期目標管理と同様に Live ノートの新規作成画面を開きます。

この画面ではLiveノートの登録を行います。  
 ・内容を入力後、「登録」ボタンをクリックしてください。

カテゴリ欄に「自由記述」、入力テンプレートに「Liveノート(自由記述)」を選択します。

必須項目である、タイトル、内容を指定してください。

自由記述方式では、テキストの他に画像や添付ファイルを使い、記事を作成することができます。

ポートフォリオタグや公開対象設定の方法は、短期目標管理等と同様です。

## [5] 記事の検索と参照

自分宛てに配信された新着記事の確認方法や、過去のタイトルの検索方法について説明します。

■ 一般の SNS (Facebook, Twitter etc.) と比較した Live ノートの特徴。

項目	Live ノートの特徴
事前準備	・本学の学生であれば、アカウント作成等の手続きは不要。
公開範囲	・公開範囲は本学の学生及び教職員に限定される。 ・新たな仲間を見つける場ではなく、既知の友人等との情報交換を目的とする。
投稿内容	・キャリアポートフォリオ等、大学が提示する利用方針に沿う内容とする。
表現手段	・自由記述様式では、画像、添付ファイル、文字装飾に対応。 ・コメント欄及びいいねボタンが利用可能。
利用期間	・本学に在学中の期間に限られ、卒業後は利用できない。

## eポートフォリオ Top 画面

eポートフォリオ系メニューを選択して最初に表示される画面です。

自分の作成した Live ノートは、「Live ノート一覧」で確認・編集ができます。

友人等が作成した過去の Live ノートは、「Live ノート検索」から参照できます。

30日以内に投稿された Live ノートは、新着一覧から閲覧することが可能です。

この新着欄は「画面カスタマイズ」の設定により、ログイン直後のホーム画面に表示させることもできます。

カテゴリ	タイトル	学年	氏名	閲覧数	コメント数	投稿日時
自由記述	静岡大学附属図書館(静岡本館)	1	学生 次郎	1	1	2013/05/29 17:54
自由記述	アルバータ大学からの報告(2013.5)	1	学生 花子	0	0	2013/05/29 17:39
レポート公開	文学史概論のレポート	1	学生 太郎	0	0	2013/05/29 17:39
短期目標管理	施設訪問に際しての予備知識の取得	1	学生 太郎	0	0	2013/05/29 17:39
短期目標管理	大学祭の企画に必要な資料の準備	1	学生 太郎	0	0	2013/05/29 17:39
短期目標管理	毎月2冊の本を読む	1	学生 太郎	0	0	2013/05/29 17:39

## レポート公開参照画面

レポート公開様式で作成した記事が、実際に公開された画面です。

投稿者が添付したレポートファイルをダウンロードできます。

記事に対するコメントは、登録後この部分に表示されます。

レポートの感想等をコメントとして返信します。

この画面では選択したLiveノートの詳細内容を表示します。

文学史概論のレポート

レポート公開 2013/05/29 17:54

ファイルの説明 前期の文学史概論のレポートをアップします。

レポート添付 レポートファイル

タグ : 大学での学び

コメント 0

いいね! 0

この記事へのコメント(0)

この記事へコメントする

コメント (1000文字以内) 必須

いいね!

登録

レポート読ませていただきました。私とは違った観点からまとめられており、とても参考になりました。特に3ページ目の冒頭の指摘は、新鮮に感じました。読んでいて飽きない内容だと思います。

## 自由記述参照画面

LiveCampus ホーム eポートフォリオ さん 39:51 ログアウト

カテゴリ Top Liveノート 学修成果管理 マイタグ管理 Webスペース

さんのLiveノート *i*

この画面では選択したLiveノートの詳細内容を表示します。

静岡大学附属図書館(静岡本館) Liveノート(自由記述) 2013/08/20 12:10

2010年4月にリニューアルオープンした、「海に見える図書館」。  
キャンパスのほぼ中央に立つ図書館の蔵書数は約94万冊です。  
パソコンを設置したゼミルームやプライベートブースなどを用意しています。  
仲間との議論などさまざまな使い方を楽しめる、快適で便利な施設です。

【静岡本館から眺めた駿河湾】

関連する画像を記事の本文中に埋め込むことができます。

ワードやPDFなどのファイルを、参考資料として添付することができます。

【参考資料】  
附属図書館利用案内

タグ：大学での学び

学修成果シートの各目標区分に対応した、ポートフォリオタグがこの部分に表示されます。

コメント いいね!

この記事へのコメント (0)

この記事へコメントする

コメント (1000文字以内) **必須**

いいね!

いいね!する

登録

### [Live ノートの利用方針について]

Live ノートの利用ルールに関しては、本冊子末尾の「ポートフォリオシステムの利用に関するガイドライン」に記載されていますので、ご確認願います。

また、不適切な内容の記事や、心当たりのない人からの Live ノートをもし見かけましたら、下記メールアドレス又は所属学部 of 学務（教務）係に連絡してください。

【不適切記事の報告用アドレス】 [pfreport@adb.shizuoka.ac.jp](mailto:pfreport@adb.shizuoka.ac.jp)

## 自分史

自分史は、学期別の学修成果シートを総括するために提供される補助的な機能です。キャリアポートフォリオのパッケージ内では、就活の履歴書やエントリーシートの下書きになるような、実用的な項目が設定されています。

### 〔機能の特徴〕

- 3年次以降、これまでの学期別の活動成果をまとめるツールとして適宜活用。
- 就活のエントリーシートの下書きとなるような項目が設定されており、希望業種等の情報を指導教員や就職相談員と共有することも可能。

## [1] 作成方法

自分史の画面構成と作成方法を説明します。

The screenshot shows the '自分史' (My History) page in the LiveCampus system. The page title is '自分史参照' (View My History). The navigation menu includes '自分史', 'プロフィールシート', '学修成果シート', and 'マイタグ管理'. The main content area is titled '企業別シート' (Company-specific Sheet) and contains three sections for '志望企業・業種' (Target Company/Industry), each with fields for '企業・業種名', '志望理由', and '自己PR'. A '編集' (Edit) button is visible next to each section. A '印刷用画面を表示' (Show Print View) button is also present. Annotations with red arrows point to the '自分史' menu item, the '印刷用画面を表示' button, and the '編集' buttons.

自分史参照

LiveCampus ホーム eポートフォリオ アウト

カテゴリTop 自分史 プロフィールシート 学修成果シート マイタグ管理 Web

自分史 印刷用画面を表示

企業別シート 編集

志望企業・業種1

企業・業種名  
志望理由  
自己PR

志望企業・業種2

企業・業種名  
志望理由  
自己PR

志望企業・業種3

企業・業種名  
志望理由  
自己PR

パーソナリティ/キャリアシート 編集

e ポートフォリオ系メニューのトップ画面から「自分史」を選択します。

自分史全体を印刷するためのプレビュー画面を表示します。

編集ボタンから各シートの編集画面を開くことができます。

**自分史編集**

LiveCampus ホーム eポートフォリオ ログアウト

カテゴリTop 自分史 Liveノート プロファイルシート 学修成果シート マイタグ管理 W

自分史登録 ⓘ

企業別シート

志望企業・業種1

企業・業種名 (100文字以内)

志望理由 (1000文字以内)

自己PR (1000文字以内)

画面末尾にある登録ボタンにより、編集内容が保存されます。

自分史参照画面の編集ボタンを押すと、各シートの編集画面が表示されます。

各区分の入力欄に記入をしてください。入力は自分に必要のある項目のみで結構です。

登録

## [2] 入力項目

大学側で設定している入力項目の一覧を説明します。

■ 自分史に設定されている入力項目と分類の一覧は、下表のとおりです。

分類	入力項目
<b>(1) 企業別シート</b>	
志望企業・業種1	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 企業・業種名</li> <li>◇ 志望理由</li> <li>◇ 自己PR</li> </ul>
志望企業・業種2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 企業・業種名</li> <li>◇ 志望理由</li> <li>◇ 自己PR</li> </ul>
志望企業・業種3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 企業・業種名</li> <li>◇ 志望理由</li> <li>◇ 自己PR</li> </ul>
<b>(2) パーソナリティ/キャリアシート</b>	
パーソナリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 日常の活動・行動で継続して行っていること</li> <li>◇ 日頃大切にしている又は努力していること</li> <li>◇ 興味・関心を持っていること</li> <li>◇ 自分の長所・強み</li> <li>◇ 苦手なこと・苦手なことを克服するために努力していること</li> </ul>
キャリアプラン	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 将来取り組みたい仕事とその理由</li> <li>◇ 仕事を通じて達成したい目標</li> </ul>

分類	入力項目
<b>(3) 学校活動歴シート ～学業関係～</b>	
<b>学校の課程で関心を持って取り組んだこと</b> まず、各入力欄に科目名やテーマをタイトルとして入力します。それぞれについて、「関心を持った理由・内容」や「学んだこと・得られたもの」を詳しく記入してください。	◇ 取り組み1 ◇ 取り組み2 ◇ 取り組み3 ◇ 取り組み4 ◇ 取り組み5 ◇ 取り組み6
<b>学校のキャリア教育で実施されるセミナー・講座等への参加状況</b> まず、各入力欄に実施期間とセミナー・講座名をタイトルとして入力します。それぞれについて、「取り組んだ内容」や「学んだこと・得られたもの」を詳しく記入してください。	◇ 参加状況1 ◇ 参加状況2 ◇ 参加状況3
<b>学校の課程以外での学習歴</b> まず、各入力欄に実施期間と教育機関・コース名をタイトルとして入力します。それぞれについて、「内容・目的」や「学んだこと・得られたもの」を詳しく記入してください。	◇ 学習歴1 ◇ 学習歴2 ◇ 学習歴3
<b>(4) 学校活動歴シート ～課外活動関係～</b>	
<b>アルバイト</b> まず、各入力欄に期間と業務概要をタイトルとして入力します。それぞれについて、「仕事内容」や「学んだこと・得られたもの」を詳しく記入してください。	◇ アルバイト1 ◇ アルバイト2 ◇ アルバイト3
<b>サークル・ボランティア活動</b> まず、各入力欄に期間と活動概要をタイトルとして入力します。それぞれについて、「活動の実績」や「学んだこと・得られたもの」を詳しく記入してください。	◇ サークル・ボランティア1 ◇ サークル・ボランティア2 ◇ サークル・ボランティア3
<b>インターンシップ・留学等</b> まず、各入力欄に期間と実施概要をタイトルとして入力します。それぞれについて、「取り組み内容」や「学んだこと・得られたもの」を詳しく記入してください。	◇ インターンシップ・留学1 ◇ インターンシップ・留学2 ◇ インターンシップ・留学3
<b>(5) 履歴シート</b>	
<b>学歴</b> 中学校入学以降の学歴を「年月／学校・学科名」の形式で記入します。システムへの登録は参考程度ですので、必要があれば入力を行ってください。	◇ 学歴1 ◇ 学歴2 ◇ 学歴3 ◇ 学歴4 ◇ 学歴5 ◇ 学歴6 ◇ 学歴7 ◇ 学歴8
<b>職歴</b> 正規職員の経験があれば「期間／就業先・職務概要」の形式で記入します。システムへの登録は参考程度ですので、必要があれば入力を行ってください。	◇ 職歴1 ◇ 職歴2 ◇ 職歴3
<b>資格・免許</b> 取得済みの資格があれば「取得年月／名称」の形式で記入します。	◇ 資格・免許1 ◇ 資格・免許2 ◇ 資格・免許3

### 〔自分史の活用方法について〕

自分史は、学修成果シートで毎学期蓄積した大学での活動成果をまとめるための項目を提供しています。実際に企業へ提出する履歴書やエントリーシートはそれぞれ様式が異なりますが、最終的な提出物の下書きとして自由に活用してください。

また、学務情報システム上に登録することで、希望業種の情報も含めて、指導教員に就職に関する相談をするきっかけを作ることや、印刷物を持参して就職相談室のキャリアカウンセラーにアドバイスをもらうこともできます。

自分史を有効活用するためには、システムに登録するだけでなく、まとめた内容を基に指導教員等へ積極的に助言を求めることも重要になります。

## ポートフォリオシステムの利用に関するガイドライン

平成26年3月13日 全学教務委員会

- 1 本ガイドラインは、学務情報システム内の「e ポートフォリオ」系メニューとその関連機能から構成されるポートフォリオシステム（以下「本システム」という。）を利用するにあたり、必要な指針を記載したものである。
- 2 本システムに投稿された文章やその他のコンテンツが下記の項目に該当する場合、大学はこれらの内容をシステムから削除するとともに、状況に応じて投稿者による関係機能の利用を停止する。
  - (1) キャリアポートフォリオ等、大学が提示する利用方針の趣旨から明らかに逸脱した内容
  - (2) 本人の同意なく公開対象者として配信された記事
  - (3) 著作物の無断配布など、他者の知的所有権を侵害する行為
  - (4) 他者の個人情報やプライバシーに関わる情報を無断で公開すること。
  - (5) 第三者もしくは本学に不利益を与える内容、誹謗中傷、名誉・信用を傷つける内容
  - (6) 人権侵害、差別を助長する内容、法令又は公序良俗に反する内容
  - (7) 学内外の選挙活動、政治、宗教に関する勧誘を目的とした内容
  - (8) 特定の団体・個人の営利を目的とした広告の掲載
  - (9) 本学の学生として品位に欠ける内容
  - (10) その他、本学が不適切と判断する内容
- 3 前項に掲げる不適切な内容の他、ハラスメント及び犯罪被害等の深刻な問題が示唆される記事を見つけた場合、速やかに報告用メールアドレス又は所属学部の学務（教務）係に連絡すること。
- 4 本システムに登録された記事に関しては、投稿者が卒業あるいは離籍するまで参照可能であり、卒業等により参照権限を失った後も内容を再利用したい場合は、各自で画面コピー等の方法でデータを移行させること。
- 5 メンテナンス又は予期しない理由により、本システムの利用が妨げられたことに起因する損害については、その責任を負いかねるので注意すること。

※不適切記事の報告用アドレス [pf-report@adb.shizuoka.ac.jp](mailto:pf-report@adb.shizuoka.ac.jp)



**National University Corporation  
Shizuoka University**